

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	THB102C	コミュニケーション理論 IIC	
科目名（コード）	THB102	コミュニケーション理論 IIC	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	中村 久子	時間数	
成績評価教員	中村 久子	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題が理解できるようになる。
全体の内容と概要	N2レベルの文法と聴解を学ぶ。試験形式の演習を行いJLPTのN2に合格する力をつける。また、フォーマルな言い方や書き言葉を学び、状況に応じた日本語を使い分けられるようにする。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	9/25 必修パターンN2聴解 ポイント理解 1 9～2 2 TRY!N2文法
2	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	10/2 必修パターンN2聴解 概要理解 2 3～2 6 TRY!N2文法
3	質問に対する的確な答えが言える。	10/9 必修パターンN2聴解 概要理解 2 7～3 0 TRY!N2文法
4	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	10/16 必修パターンN2聴解 即時応答 3 1～3 9 TRY!N2文法
5	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	10/23 必修パターンN2聴解 即時応答 4 0～4 8 TRY!N2文法
6	質問に対する的確な答えが言える。	10/30 必修パターンN2聴解 統合理解 4 9～5 2 TRY!N2文法
7	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	11/6 必修パターンN2聴解 統合理解 5 3～5 6 TRY!N2文法
8	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	11/13 必修パターンN2聴解 模試問題 TRY!N2文法
9		11/20 JLPT模試
10		11/27 JLPT模試 12/1 JLPT
11	総合的な聴解力を身につける。	12/4 必修パターンN2聴解 模試問題 TRY!N2文法
12	総合的な聴解力を身につける。	12/11 後期のまとめ
13	総合的な聴解力を身につける。	1/15 後期のまとめ
14	期末試験	1/22 学期試験
15	追試・フィードバック	1/29Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターンN2 聴解 TRY!N2文法
参考文献・資料等	適宜会話練習、定着確認
備考	クラスの状況に応じて進度を変えることがあります。水曜日 1 限